

Press Release

令和 7 年 6 月 25 日
国立大学法人 筑波技術大学

【展示開催】デフリンピックの歴史を知る —筑波技術大学で特別パネル展—

国立大学法人筑波技術大学は、2025 年 11 月に開催される「東京 2025 デフリンピック」に先立ち、デフリンピックの歴史を紹介するパネル展を開催します。本展は、きこえない・きこえにくい人々のスポーツの祭典であるデフリンピックへの理解と関心を深めることを目的としています。なお、展示パネルは社会福祉法人全国手話研修センター「デフリンピックに関する資料の収集・保存、展示、普及のためのプロジェクト」委員会が制作しました。

展示期間中は、毎日正午から午後 1 時まで、パネルを制作した教員が手話によるギャラリートークを行います。ぜひお越しください。

【期間】 令和 7 年 7 月 7 日 月曜日～7 月 11 日 金曜日
午前 9 時から午後 5 時(最終日 11 日は午後 2 時まで)
【ギャラリートーク】 期間中毎日、正午～午後 1 時(手話による解説)

※8日 火曜日はメディア公開日として、手話通訳を手配いたします。

手話通訳が必要な方のご参加および取材は、可能な限り8日をお願いいたします

【会場】 筑波技術大学天久保キャンパス「大学会館 1 階 OnOff ラウンジ」
【主催】 国立大学法人筑波技術大学
【共催】 筑波大学オリンピック教育プラットフォーム
(CORE:Centre for Olympic Research and Education)
社会福祉法人全国手話研修センター

【取材申込】 本件についての取材をご希望の方は、7 月 3 日 木曜日までに、下記問い合わせ先までメールでご連絡ください

【問合せ・取材受付】大学戦略課広報担当

Tel 029-858-9311

Email:kouhou[at]ad.tsukuba-tech.ac.jp ※[at]は@です

●展示パネルの例(約 15 枚を展示予定)

デフリンピック
とは

4年に1度開催される、きこえない・きこえにくいアスリートのための国際スポーツ大会です。国際ろう者スポーツ委員会(英語表記ICSD: International Committee of Sports for the Deaf)が統括しています。1924年の設立当初は、「国際サイレント競技大会(International Silent Games)」と呼ばれ、その後「世界ろう者競技大会」と名称を変え、2001年に国際オリンピック委員会より「デフリンピック(Deaflympics)」と称することの認可を得て現在に至っています。

デフリンピックは、パラリンピックやスペシャルオリンピックスよりも歴史があり、2024年に100周年を迎えました。

デフリンピックはきこえの程度によるクラス分けはありません。選手は人工内耳や補聴器などは使用せず、きこえの良い方の耳が55dB以上という「公平きこえない立場」で競技します。耳がきこえなくても、「聴覚情報をフル活用」して競技が行われ、スポーツをするうえでの競技ルールの変更や特別な用具の使用はありません。

大会では国際手話をはじめとしたさまざまな方法でコミュニケーションが展開されます。静けさの中で繰り返られる競技中の選手同士のアイコンタクト、手話によるコミュニケーション、それらをサポートするさまざまな視覚情報にも着目してください。

**日本初出場
第10回
国際ろう者競技大会**

アメリカ合衆国 ワシントンD.C.
1965.6/27 - 7/3

英語名 10th International Games for the Deaf
フランス語名 Xe Jeux Internationaux silencieux

12競技・27方面 選手687名(男性575名 女性112名)

●大会ハンドブックより①「ケネディ大統領を悼む」
ケネディ大統領が在職中にデフリンピックの米国開催を了承し、自ら名誉大会会長になった。しかし、大会が開催される前に暗殺された。以下は、大会ハンドブックに英語とフランス語で掲載された、大会からのメッセージ。
ケネディ大統領は、第10回国際ろう者競技大会の名誉会長に就任してほしいという私たちの要請を受け入れてくださり、光栄でした。
彼自身も身体障害者で、障害者スポーツの熱心な支援者でもありました。就任によって彼の英雄的な人生がますます輝きを増したことは、特に悪い出来事であり、国内のろう者コミュニティにとって大きな悲劇でした。「彼は賢者であり、偉大な人物であり、善良な人物でした。これ以上に素晴らしい人物はいないと考えるでしょう。」

●大会ハンドブックより②「ジョンソン大統領の歓迎のことば」
我が国は、第10回国際ろう者競技大会のためにここへ来られた世界各国の人々を歓迎できることを大変嬉しく思っております。
世界中のろう者の多くの功績は、誰もが誇りに思うべきものです。障害を抱えながらも、彼らは科学、芸術、専門職、貿易、産業、そしてスポーツの分野で卓越した業績を収めました。こうした偉大な功績が、ろう者は人間の進歩に貢献してきました。
今年、国際大会が我が国で開催されることは大変光栄であり、私自身も名誉会長を務めることを誇りに思います。
この国際大会にあたり、私たちは国民に対し、特許可能な国家共同体を築くための新たな方法について創造的な思考をするよう呼びかけました。国際ろう者競技大会は、そうした理解を深めるための有望な道筋の一つです。
参加者全員にとって興味深く、やりがいのある経験となるよう祈るとともに、他国から来た友人たちには、我が国での滞在が最高に楽しいものとなるようお祈り申し上げます。

●陸上競技のスタート合図
現在は光を使ってスタートの合図をするが、当時はスターターが選手の正面に立ち、煙がたくさん出るよう工夫したピストルを使っていた。
左はスタート直後の写真。上の方にスターターが立ち、発射されたばかりのピストルの白煙が見える。

【アクセス】

